

令和4年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	図書館の管理運営			担当課名	教育こども課
(予算書コード)	10-04-04-05-01・10-01			担当係名	図書館
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称	図書館法、下諏訪町立図書館条例、下諏訪町立図書館規則、下諏訪町立図書館協議会規則				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町民を中心に諏訪広域圏の住民に、知る権利・学習権を保障し、読書・調査研究の場を提供するため、書籍・雑誌・視聴覚資料等を収集・整理・保存し、貸出し・閲覧をとおして提供する。多様化する町民ニーズに応えるため、資料の充実を努める。また、子どもたちの読書を推進し、町民の読書・生涯学習の意欲を高め、親しみのある図書館にするため、様々な事業を展開する。読書にハンディーキャップのある人へのサービスの拡充につとめる。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	人口一人当たりの貸出冊数	町内利用登録者への貸出し冊数/町人口 (目標値は県平均)	冊	目 標	6	5	5
				実 績	10	11	/
達成率	166.7%	220.0%	/				

【投入されたコスト・業務量】

		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	
事業費	事業費 A	42,394 千円	35,492 千円	37,303 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	12.00 人 14,918 千円	12.00 人 14,182 千円	12.00 人 13,497 千円	
	正規職員人件費 B	2.00 人 13,233 千円	3.00 人 19,707 千円	2.00 人 13,556 千円	
事業費合計 C (A+B)		55,627 千円	55,199 千円	50,859 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	528 千円	396 千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円
		町の借入	5,700 千円	千円	千円
		その他	1,107 千円	193 千円	167 千円
	うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	
一般財源 (町の負担)		48,292 千円	54,610 千円	50,692 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %	0 %	0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない 図書館法に基づき、図書館は住民にその求めている情報・資料を無料で提供する使命を持っている。
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である 当館に利用者登録をされている方は、下諏訪町民4,273人、町外の方6,900人、合計11,173人。図書館法の定めにより資料提供は無料を原則としている。対価のあるコピーサービスは利用者に費用負担を求めている。資料の紛失・汚損等は利用者に弁償を求めている。
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である システム更新することで諏訪広域ネットワーク内の本の配送が効率的になり、予約された本が利用者に届く時間が短縮された。少数の正規職員と会計年度任用職員で効率的な運営を実行しているが、専門職員の育成など長期的な視野に立った人員配置が求められる。
達成度	A	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以上である 町民一人当たりの貸出数は11冊で昨年を上回った。図書館のリニューアルオープン20周年記念事業の一つとして、貸出数上限10冊を20冊とした効果と思われる。図書館としてはさらなる良書の紹介や普及、データベースを活用した資料提供、障がい者サービスの充実に努めたい。

総合評価	現状維持	書店やレンタルDVD店が撤退する中、モバイルコンテンツの利用が難しい方を含め、誰でも利用できる本や映像資料等を提供する図書館の役割は不可欠である。町民の幅広い要求に応えられる本を揃えると共に、県と市町村が協働で運営する電子図書館のPRや館内の視聴覚資料を充実させ、利用者層の拡大に努めていく。
	前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持

令和4年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	地域資料保存事業				担当課名	教育こども課
(予算書コード)	10-04-04-12-01				担当係名	図書館
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託		
事業の開始・終了	平成 29 年 6 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	図書館法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	未来の下諏訪町民に町の歴史的資料を残すため、下諏訪町の昔の姿がわかる写真・映像をデジタル化し、文字情報と共に保存する。保存された情報を町民がアクセスしやすい形で提供する。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	デジタル化した写真数	デジタル化した写真数	枚	目 標	100	100	100
				実 績	234	143	
達成率	234.0%	143.0%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和3年度決算		令和4年度決算		令和5年度予算		
事業費	事業費 A	133 千円		133 千円		145 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	0.30 人	396 千円	0.30 人	400 千円	0.30 人	363 千円	
	正規職員人件費 B	0.10 人	662 千円	0.10 人	657 千円	0.10 人	678 千円	
事業費合計 C (A+B)		795 千円		790 千円		823 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	千円		千円		千円	
	うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円		
一般財源 (町の負担)		795 千円		790 千円		823 千円		
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である 受益者は町民全体であり、また、費用負担は発生しない。
効率性	B	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 検討の余地がある 令和2年度までは専任の作業者を委託、現在はボランティアによる作業が中心となっているが、公開するにあたり歴史的なデータの検証に時間を要する。メディアからの問い合わせも増加してきているため、恒常的な作業確保の検討が必要となっている。現時点では、できる範囲内で効率的な運営を行っている。
達成度	A	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以上である 写真・映像ともに目標を上回って保存することができた。町民への還元ということでは、図書館内での展示や瓦版を作成し配布を行ってきた。今後も提供された写真等についてデジタル化を図っていきたい。また、町民からの投稿も更に増えるようPRしていききたい。

総合評価	拡 充	この事業は現在、図書館運営のサイト「みんなで作る 下諏訪町デジタルアルバム」に集約されている。当町の歴史・文化を知る一助として、今後も文化の継承と地域活性化に役立てたい。また、過去の写真だけでなく、現在の町を映した写真の投稿についてもPRし、継続的に新しい資料を保存・検証し、より充実したサイトを目指す。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	